

世界の第一線で 映像を作るには!!



ART DIRECTOR //

CHIKAKO SUZUKI //

エミー賞受賞クリエイターに聞く ハリウッドの 美術監督という仕事

イベント概要

エミー賞の美術賞を受賞し、その後は世界的映画会社マーベルの作品に携わるなど、ハリウッドで活躍する数少ない日本人クリエイターの一人である、美術監督(アートディレクター)のCHIKAKO SUZUKIさんをお迎えし、美術監督という仕事についてはもちろん、ハリウッドならではの制作現場の雰囲気や日本の現場との違い、なぜハリウッドに日本人クリエイターが少ないのか、世界に飛び出すにはどんなことが大事なのかなどお話をいただきます。海外の最新クリエイティブ事情に興味のある方、制作活動拠点として海外を視野に入れている方には気になるトピックスが満載です。現在日本滞在中のCHIKAKOさんに、直接会って話を聞けるチャンスです。今回特別に、**学生は無料**で参加いただけます。



『WandaVision』
第73回エミー賞(2021) 23部門でノミネート

開催日時

2021.8.20 金 17:00~19:00

受講費

学生:無料 一般:1,100円(税込)

定員

来場参加:30名
オンライン参加:100名

場所

渋谷区恵比寿西1-7-7 EBSビル
7Fセミナールーム

対象者

- ◆映像制作者
- ◆映像制作を学んでいる方
- ◆美術監督に興味のある方
- ◆海外でクリエイティブに携わりたいとお考えの方
- ◆ハリウッドの映画制作に興味のある方

お申込みは
こちら



プロフィール

CHIKAKO SUZUKI / アートディレクター

愛知県名古屋市出身。高校卒業後、単身渡米、サンフランシスコ州立大学演劇学部に入学生舞台美術を学ぶ。その後、カーネギーメロン大学の大学院演劇学部で修士号を取得。卒業後はハリウッドで美術部のコーディネーターを経てアートディレクターに。ABCやHBOなどのテレビシリーズ、マーベルスタジオの作品など、数多くのテレビドラマに携わりアートディレクターやセットデザイナーとして活躍。2014年には「ハウス・オブ・ライズ」でエミー賞(プライムタイム・エミー賞)の美術賞を受賞。2020年、マーベル・スタジオ初のオリジナルドラマシリーズ「ワンダヴィジョン」にアートディレクターとして参加した。

主な作品



「アグリー・ベティ」(2006・2007)
「ハウス・オブ・ライズ」(2013)
「ニュースルーム」(2011・2014)
「エージェント・カーター」(2014・2015)
「ランナウェイズ」(2017)
「真相-Truth Be Told」(2018)
「ワンダヴィジョン」(2020)

Website <http://chikakosuzuki.com/>

Twitter <https://twitter.com/chikakoart>